

1日の死者数・クラスター・搬送困難

口子患者だけでなく、一般の疾患やケガした人が救急医療を受けられず命を失つたり縮めたりしていく。政府が必要な対策をしないと失われる命が増えていく」。

100

軒並み過去最悪

2
連続
テ
量
多

新型コロナウイルス感染症の第8波は、政府が患者の全数把握を放棄して「新規感染者数」を第7波を下回るもの、一日当たり死者数、高齢者施設のクラスター（感染者集団）発生件数、「救急搬送困難事象」が軒並み過去最多を記録、医療の逼迫は極めて深刻です。危機的状況を国全体で認識しない無為無策の岸田政権は医療現場からの怒りの声が上がりにこまか。

內
藏
書
字



発熱外来でPCR検体を採取する看護師=29日、埼玉県川口市の埼玉協同病院(同病院提供)

とゆ谷さん、軽症から重症とおぞいがいも似た
者を歴のせいかを得なく異常な事態です。

28日も介護施設で発熱し、1件あれば大問題だ
た高齢者が搬送されコロナ死亡
と分かりましたが、点滴治療をして施設に帰しました。
11月以降、50床規模の各病棟でコロナ患者が連続して発生し、入院を制限せざるを得なくなっているのです。口ロナ受け入れ病床は超過入院状態です。

近隣の中規模救急病院で社会の距離を感じたことは、
「第8波ほじ医療現場」で、このままでは、医療機関の逼迫を緩和する対策も怠がれま

生、「おそいがいも似た
り寄つたりではないでしょ
うか。」コロナ前は「んな
ん。」崖田政権は、3年ぶりに季節性インフルエンザの流行期に入ったと発表しま
したが、医療逼迫の現状を数が過去最多となつてお
り、コベクの高い高齢の感染者を迅速に医療につなぐ
体制の確保が急務となつてます。医療機関の逼迫

して発生し、入院を制限せ
たが、医療逼迫の現状を
さるを得なくなっているの
です。コロナ受け入れ病床
は超過入院状態です。
近隣の中規模救急病院で
も大規模クラスターが発
生しません。医療崩壊で
「第8波ほど医療現場」
社会の乖離を感じた」とは
り、リスクの高じ医療の感
染者を用意し医療につなが
る体制の確保が急務となっ
せん。

は超過入院状態です。
近隣の中規模救急病院で
も大規模クラスターが発
生する事で、社会の乖離を
感じたことはあります。医療崩壊で
いる間に、医療機関の逼迫
を緩和する対策も怠がれま
せん。

第8波 醫療逼迫

救急車の搬送先がすぐない
決まらない「救急搬送困難
事案」は25日までの一週間
で6000件と過去最多に
なりました。科や外科の2次救急病院
を入れられたのは15件。31件
は25日には24時間で46件の
救急車から受け入れ要請が
ありました。通常のおよそ
2倍以上です。しかし受け

「口才も一般教養も、年間約20000生の救急医療を受け入れる地域の医療機関です。中核病院です。来院された患者さんから受けられませぬでした」

コロナ第8波 医療逼迫

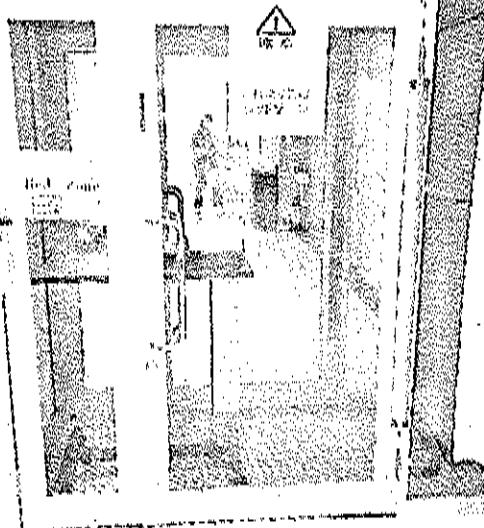
一面のつりき

コロナ病床使用率は全国

東京都北区の王子生協病院（159床）もクラスター

的に上昇傾向で全都道府県の4分の3弱で5割を上回り、神奈川、滋賀両県では8割を超えています。東京都ではコロナ陽性者が119番通報で救急要請しても42%が搬送されず不救護になっています。

長は「救急で受け入れても外科や専門科の受け皿がない」と訴えます。介護施設



厳重に仕切られている東葛病院のコロナ病棟=28日、千葉県流山市（同病院提供）

患者42%が救急搬送されず 看護師休業 ベッド減に

千葉県北部の流山市にある東葛病院（許可病床306床）は内科や外科の2次救急病院です。15床のコロナ病床には千葉県全域からの要請があります。

大きなクラスターは起きていませんが、家庭内で感染したり濃厚接触者になり

て休業する看護師が常時1割前後います。そのためベッドの25%が稼働できていません。救急搬送の受け入

り率は通常8~9割のところ6割に低下しています。

「かかりつけか、受診歴のある患者さんしか受け入れられないときもある」と阿部純一副事務長。1日30人枠の発熱外来はネット予約

で転倒し搬送されてきた患者は骨折していましたが整形外科の受け入れ病院がなく施設へ。腹痛で外科処置が必要な患者も受け入れ先が見つかりません。

日本共産党東京都委員会「コロナ対策本部長の谷川智行医師の話」医療崩壊は深刻です。12月中旬に都内の救急病院で当直した時には、一晩で7件の救急車を受け入れました。激しいがん性疼痛（どうづう）の患

者さんは化学療法中の大病院が対応できず、別の病院で鎮痛剤を注射。それでも痛みがどれず当院で入院を受け入れましたが、翌朝亡くなりました。手術の傷口

政府はコロナだけでなく一般的の救急医療も逼迫（ひっぱく）し医療崩壊が起きている現状を国民に正確に伝え、感染防止を徹底する

が開き大量出血している方々も、外科の受け入れ病院がなく搬送困難例として受け入れ、内科の私が総合しました。かかりつけ患者さんさえ受け入れられない救急

に切り替えたがすぐにキャンセル待ちが出ています。